

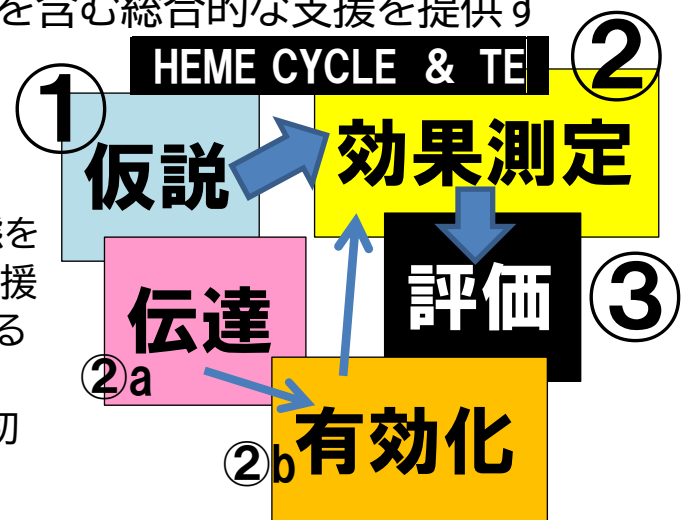
児童発達支援・放課後等デイサービス ひかりキッズアンジェの5領域支援プログラム



児童発達支援事業所並びに放課後等デイサービス事業所は令和6年度の報酬改正により、令和7年4月から「5領域を含む総合的な支援を提供する」ことが基本となりました。

■支援プログラム作成までの流れ

お子さまひとりひとりに対し、その状況や状態を把握し、身体的・精神的機能に対して適切な支援を行い、日常生活及び社会生活を円滑に営めるようにするため、お子さまおひとりおひとりに個別の支援計画を作成し、これに基づいた適切で丁寧な支援を提供してまいります。



適切で丁寧な支援を提供するには、お子さまの課題を克服するため

【仮説(Hypothesis)】⇒【効果測定(Effect Measurement)】⇒
【評価(Evaluation)】と【強化】を行う手段として事前の【伝達(Transmission)】⇒
【有効化(Enablement)】の5要素で構成される「アンジェのオリジナルセオリー」
【HEME(ヒーム)サイクル&TE(ティー)]~【ヒームサイクルアンドティー】
のプロセスをアンジェは随時行っております。

■「本人支援」とは、生きづらさを抱えているお子さんに対して…

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ①心身の健康や生活に関する領域 | ⇒ 「健康・性格」 |
| ②運動や感覚に関する領域 | ⇒ 「運動・感覚」 |
| ③認知と行動に関する領域 | ⇒ 「認知・行動」 |
| ④言語コミュニケーションの獲得に関する領域 | ⇒ 「言語・コミュニケーション」 |
| ⑤人との関わりに関する領域 | ⇒ 「人間関係・社会性」 |

の5領域を相互に関連づけた支援プログラムを提供します。

「本人支援」の大きな目標は、お子さまが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるように支援を行うことです。

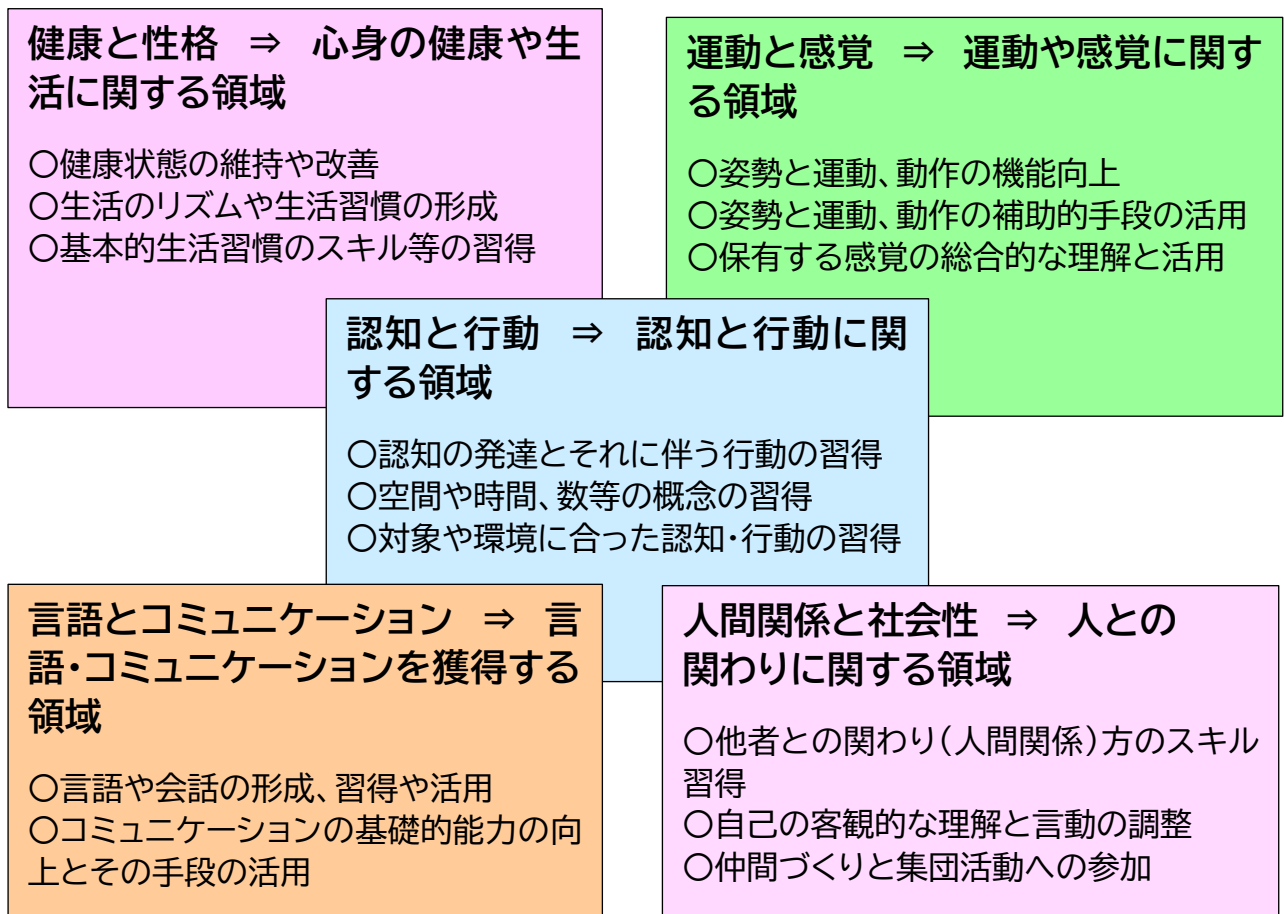
■ひかりキッズ アンジェの5領域支援プログラム



ひかりキッズ アンジェでは、5領域の支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。また、5領域を分析するアセスメントを実施し、ニーズにマッチした個別の支援計画を作成・実施し、お子さまの成長や発達を促してまいります。

5領域はそれぞれが独立しているのではなく、相互に関連し合っています。

将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、お子さまの発達段階や特性に即した支援の提供を包括的に行い、全てのお子さまに5領域の視点を網羅する支援を丁寧に提供させていただきます。



ひかりキッズ アンジェでは、心や身体、社会生活に必要なスキル等の幅広い支援で、お子さまの「生きづらさ」に寄り添えるよう、個々の発達の課題を5つの領域に分け、また関連をさせながら個別の支援計画の作成させていただきます。

また、支援計画の定期的な評価・見直しを行い、支援の質の向上を図ってまいります。

法人の理念		【お子さまをゆっくり、時間をかけて愛しながら、お子さまのもつ輝きをさらに引き出す】 ・スタッフや大人が自分の固い考えを手放し、お子さまと向き合う。 ・スタッフや大人が子どもの可能性を信頼し、じっくりと時間をかけながら育てる。 ・お子さまが、まわりの友だちや大人から信頼されるように育てる。	
支援方針		ひかりキッズアンジェが利用されるお子さまにとって居心地のよい居場所となるよう、お子さま同士、さらにスタッフとの人間関係を深めながら毎回の利用を十分に楽しめるように支援を提供してまいります。さらに、厚生労働省やこども家庭庁から提唱された総合的支援の5領域((1)健康・生活／(2)運動・感覚／(3)認知・行動／(4)言語・コミュニケーション／(5)人間関係・社会性)を育むバランスのよい療育的活動を提供し、お子さまの心身のさらなる健やかな成長を促してまいります。ひかりキッズアンジェのスタッフ一同は、お子さまがたの成長を全力でサポートさせていただきます。	
営業時間		平日:10時～12時	送迎実施の有無
			あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や調整、改善、基本的な生活習慣に必要なスキル、特に ADL(日常生活動作)の習得や定着を支援してまいります。 ・日常生活動作(ADL)に関わる支援(あいさつ、靴並べ、手洗い、着脱動作、排泄等) ・持ち物の管理や整理整頓 ・マナーやルールの理解や習得、定着	
	運動・感覚	身体に様々な感覚や感触の刺激を与え、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感などの発達を促してまいります。 ・感覚統合あそび(新緑北公園遊具のブランコや乗り物遊具の揺れや滑り台の滑降刺激) ・サーキットトレーニング(感覚統合遊びの組み合わせ等) ・はさみやピンセットなどの道具を用いたか活動の提供(自立支援教材による作業学習) ・歩行や着席・着座の練習	
	認知・行動	空間や物の概念の理解を促し、適切な距離感や行動の習得、定着を支援してまいります。 ・空間認知(キューブブロックの立体構造の認知等) ・文字や数字(正しい文字の形や書き方、数字と概数の関係性の理解等) ・概念の形成(時間・色・数字・大きさ・長短・大小・形…等) ・認知行動療法(認知・考え⇄感情⇄体調⇄行動が環境の刺激によって結果が変化する)	
	言語・コミュニケーション	要求・模倣・注目・追視、円滑なコミュニケーション等の習得や定着を促してまいります。 ・ABA応用行動分析(目標をショートステップ化し、称賛回数を増やしながらお子さまの自己肯定感の向上を目指す／約束を守ることの習得) ・御用学習(◎◎先生がお子さまに「○○先生から◇◇をもらってきて」と依頼し、お子さまが○○先生に言葉やジェスチャーを使って◇◇を要求し、◇◇をもらい、◎◎先生に「どうぞ」等の言葉や表現を使って渡す等	
	人間関係・社会性	順番やルール、役割、感情のコントロール(葛藤の調整)等、社会生活に適応するために必要なスキルの習得や定着を支援してまいります。 ・SSTソーシャルスキルトレーニングやロールプレイ(ルールやマナーの経験、合図で○○をする練習等)の提供 ・ごっこ遊び(協同遊び)⇒お店屋さんごっこ、乗り物ごっこ、おままごと、ヒーローごっこ等	
家族支援		お子さまやご家族さまの状況に応じて、随時相談支援を受け付け、丁寧に支援をさせていただきます。	移行支援
			お子さまやご家族さまの住む地域の小学校の情報を必要に応じて収集し、お子さまや保護者さまに情報の提供をさせていただきます。
地域支援・地域連携		お子さまやご家族さまと関わりのあるエージェント(療育)機関や学校、行政機関と必要に応じて連絡を取り合い、支援をさせていただきます。	職員の質の向上
			事業所内研修や外部研修等への積極的な参加や紹介を行い、福祉や療育、5領域に関わる制度や条例、ガイドラインや指導書等の読み合わせを定期的に行ってまいります。

ひかりキッズアンジェ【放課後等デイサービス】支援プログラム

作成日 令和7年1月20日

アンジェ放課後等デイサービス支援プログラミング担当:管理者兼児童発達支援管理 小林 雅彦

法人の理念		【お子さまをゆっくり、時間をかけて愛しながら、お子さまのもつ輝きをさらに引き出す】 ・スタッフや大人が自分の固い考えを手放し、お子さまと向き合う。 ・スタッフや大人が子どもの可能性を信頼し、じっくりと時間をかけながら育てる。 ・お子さまが、まわりの友だちや大人から信頼されるように育てる。	
支援方針		ひかりキッズアンジェが利用されるお子さまにとって居心地のよい居場所となるよう、お子さま同士、さらにスタッフとの人間関係を深めながら毎回の利用を十分に楽しめるように支援を提供してまいります。さらに、厚生労働省やこども家庭庁から提唱された総合的支援の5領域((1)健康・生活／(2)運動・感覚／(3)認知・行動／(4)言語・コミュニケーション／(5)人間関係・社会性)を育むバランスのよい療育的活動を提供し、お子さまの心身のさらなる健やかな成長を促してまいります。ひかりキッズアンジェのスタッフ一同は、お子さまがたの成長を全力でサポートさせていただきます。	
営業時間		平日 :14時～18時 学休日: 9時～17時	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	・ひかりキッズアンジェでは、健康な心と体を育むお手伝いをさせていただきます。 ・意思表示に困難さをおぼえているお子さまに対しては発達の過程や特性に配慮し、お子さまのサインや表出から心身の異変を察知できるよう、確認や配慮をいたします。 ・食事・睡眠・排泄・着替えなど、基本的な生活習慣を身に付け、安全な生活をお子さまご自身が身に付けられるよう、生活習慣のスキルの習得と定着を目指してまいります。	
	運動・感覚	・正しい姿勢の保ち方を身に付け、運動機能や筋肉の向上を図ります。 ・新緑北公園等の遊具遊びの提供、それを繋げてプログラムするサーキットトレーニング、鬼ごっこ遊び(アンジェ版『逃走中』)などを通して筋力や身体の機能を鍛えていきます。 ・感覚過敏や鈍麻のあるお子さまにも安心して参加できる活動を提供し、そのお子さまが過ごしやすい環境の調整等を適宜行いながら、支援を進めさせていただきます。	
	認知・行動	・視覚や聴覚、触覚などの感覚に刺激を与え、認知機能を向上させていただきます。 ・粘土やスライム、ハンドベルや時計等を使用して概念を学んだり、新緑北公園に咲いている草花や虫、生き物等を通して生態の種類や大きさ、色や形、生態の違いなどを確認し、自然や命の尊さ、履かなさについて、様々な角度から学べる機会を提供いたします。 ・アンジェ施設内の富弘カレンダー美術館にて、詩画から「やさしさ」や「温かさ」を感じられるよう、じっくり鑑賞できる時間やシチュエーションを提供させていただきます。	
	言語・コミュニケーション	・会話やコミュニケーション等を文字や記号、ジェスチャーや絵カード、イラスト等を使用しながら相手とのやりとりを理解し、自分の気持ちを自分の言葉や表現でアウトプットできるよう、支援を継続してまいります。 ・インタビューごっこ等で自分の思いを言語化する機会を提供してまいります。	
	人間関係・社会性	・集団活動への参加や余暇活動を通して信頼関係の築き方を学ぶ機会を提供します。不適切な言動には注目せず、適切な行動を促す支援を講じてまいります。 ・お子さまたちの状況や様子を確認し、お子さまのキャラクターを活かしながら友だちとの協調性や思いやりの心情を育むことができるよう、配慮や支援を提供してまいります。 ・公共施設への訪問や市内巡り、買い物学習、他の福祉サービスとの交流など、他者との関わりや人間関係を育む活動を提供し、お子さまの成長を後押ししてまいります。	
家族支援		お子さまやご家族さまの状況に応じて、随時相談支援を受け付け、丁寧に支援をさせていただきます。	移行支援 お子さまやご家族さまの住む地域の中学校や福祉施設等の情報を必要に応じて収集し、お子さまや保護者さまに情報の提供をさせていただきます。
地域支援・地域連携		お子さまやご家族さまと関わりのあるエージェント(療育)機関や学校、行政機関と必要に応じて連絡を取り合い、支援をさせていただきます。	職員の質の向上 事業所内研修や外部研修等への積極的な参加や紹介を行い、福祉や療育、5領域に関わる制度や条例、ガイドラインや指導書等の読み合わせを定期的に行ってまいります。